

## 「さあ、今日がはじまる！」

ああ、今日がはじまる…。

もう少し寝ていたい。そんな、寝ぼけ眼、乾いた心身に一杯の白湯を飲む。シューズを履いて、外に踏み出す。動き出しの10分、まだ気持ちは上がってこない…。

私の故郷に比べ、見上げて、灰色のビルの谷間により、空は狭い。朝日もさえぎられてしまい、日影が多い。そんな朝も、それでも一歩踏み出す。すると、今まで、気づけなかったことにも気づけるようになってきた。

朝は、空気が澄み、鳥のさえずりもきこえる。肌にも、耳にも心地よい。この大都会にも、故郷と同様、香り豊かな桃色や菜の花色などの花々、光が透き通るような新緑の木々などのあざやかな自然を感じられる場所は意外とあることに気づいた。清々しい。路地の広告からは、故郷では感じられない文化も知り、たのしみが生まれ、わくわくできる。

日々、お気に入りの場所が増えていく。その中に、最近、どうしても気になってしまふ老木がある。けっして、大木でもない。どこでも見られる、至って普通の木である。その老木は、4月当初、薄紅色の花を咲かせ、私の心を癒してくれた。今は、新緑を芽吹かせ、私にエネルギーを与えてくれている。この木はもちろん、他のお気に入りの場所を通ると、自然と私の乾いた心も満たされ、顔もほころぶ。

人は、それぞれ、感じ方も違う。基準も違う。同じものを見ても、聞いても、感じ方は異なる。もしかしたら、あの老木を見て心地よくなるのは、私ぐらいなのかもしれない。いつもと違う時間や、違う角度から見ると、何気ない日常の中に、自分次第で、幸せは、増やせるのかもしれない。これまで歩んできた私の人生も半世紀まであと一歩。今までの人生により、それを感じられる年齢になったのかもしれない。

明朝もまた、寝ぼけ眼、乾いた心身に一杯の白湯を飲み、テンションが上がらない中、シューズを履いて、外に踏み出すだろう。

何気ない日常の中に、自然や人、文化などとのすてきな出会いがあるかもしれない。そんなことにわくわくし、たのしみをみつけるために。

さあ、今日がはじまる。

(S.T)

### 「教育委員会月報 令和6年5月号 No.895」

- ・発行・著作 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課
- ・〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
- ・TEL:03-5253-4111 (代表)
- ・URL: <https://www.mext.go.jp>



文部科学省